

こころん だより

2024
夏号
Vol.29



こころん



令和5年12月～令和6年1月にかけて、室戸市のすべての保育所で、こころんの紙芝居とパペット、着ぐるみを活用した人権教育が行われました。こころんと一緒にみんないい笑顔です。

▶ P7もご覧ください

特集1

真に人権が尊重される高知県を目指して
～「高知県人権施策基本方針－第3次改定版－」を策定しました～

特集2

おでかけ
こころん

困難を抱える女性に寄り添う
～ 国の新しい法律と高知県の取組紹介 ～

真に人権が尊重される高知県を目指して

～「高知県人権施策基本方針－第3次改定版－」を策定しました～

文：高知県 子ども・福祉政策部 人権・男女共同参画課



人権侵害のない社会に向けて

人権とは、一人ひとりが人間らしく生きていくために、生まれながらにして持っている大切な権利であり、人が個人として尊重され、安全で安心して安定した生活を送るために欠くことのできないものです。このため、すべての人の人権が尊重される社会づくりに向けた取組を進めていくことが重要です。

高知県では、人権施策の方向性や人権課題ごとの推進方針、具体的な取組とその達成目標などを定めた「高知県人権施策基本方針」を策定し、人権教育・人権啓発の取組を進めています。

県民に身近な11の人権課題

1.同和問題	7.外国人
2.女性	8.犯罪被害者等
3.子ども	9.インターネットによる人権侵害
4.高齢者	10.災害と人権
5.障害者	11.性的指向・性自認
6.感染症患者等	様々な人権課題 ※

※ 様々な人権課題には、以下のものがあります。

- ・アイヌの人々
- ・刑を終えて出所した人
- ・北朝鮮当局による拉致問題等
- ・ホームレス
- ・人身取引
- ・職場におけるハラスメント
- ・その他の人権課題（自死遺族に対する人権侵害、貧困問題、プライバシーや個人情報の保護など）

社会情勢に対応した、新たな指針を策定

前計画である「高知県人権施策基本方針－第2次改定版－」の推進期間（平成31年度～令和5年度）においては、こども基本法や、性的少数者への理解増進法、改正された障害者差別解消法が公布されるなど、人権を取り巻く社会情勢が大きく変化しました。

しかし、インターネット上の差別的な書き込みや、性的マイノリティであることを理由とする差別、DVなど、依然として多くの人権問題が顕在化・深刻化している現状があります。

そこで高知県では、令和4年度に実施した「人権に関する県民意識調査」の結果をふまえ、令和6年3月に「高知県人権施策基本方針－第3次改定版－」（推進期間令和6年度～令和10年度）を策定しました。

「第3次改定版」では、相談・支援体制の充実や、差別事象への対応力の強化に向けた施策などを盛り込み、それぞれの人権課題に関する5年間の推進方針や具体的な取組、達成目標を掲げています。



改定のポイント

1 目指す社会の姿を実現するために、施策の達成度をはかる目標値(KPI)を設定

人権施策の2つの柱である「人権教育」と「人権啓発」の大きな目標値(KPI)を設定し、その達成を目指します。

① 人権教育(抜粋)

目標設定指標		
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」児童生徒の割合(※1)		
出発点(R4)	目標値(R10)	
小学6年 32.5%	60%以上	
中学3年 32.6%		

※1「全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査」(小学6年、中学3年)

② 人権啓発(抜粋)

目標設定指標		
「自分の人権が侵害されたと思った時に、何もなかった」の割合(※2)		
出発点(R4)	目標値(R10)	
33%	20%以下	

※2「県の人権に関する県民意識調査」

2 相談・支援体制をより充実

- ・人権問題の早期解決と誰一人取り残さない社会を目指すため、相談機関の連携を強化します。
- ・人権に関する問題について安心して相談できるよう、相談機関を広く周知します。

3 差別事象への対応力を強化

- ・「人権尊重の社会づくり協議会」の中に「差別事象検討部会」を設置して、原因・背景の分析と、対応策や効果的な啓発を検討し、その内容を県民に周知します。
- ・「障害を理由とする差別の解消のための調整委員会」を設置して、相談によって問題が解決しない場合の紛争解決を図ります。

4 「職場におけるハラスメント」を明記し、啓発を推進

これまで「その他の人権課題」に整理していた職場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等を、「様々な人権課題」の中に明記し、防止・啓発を推進します。



地域共生社会の実現を目指して

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに暮らし続けることのできる社会を実現するためには、県や市町村での人権教育や人権啓発の取組を今後も進めていくことはもとより、県民の皆様一人ひとりが人権についての当事者であるという認識のもと、それぞれの地域・職場・家庭などで積極的に人権尊重に取り組んでいただくことが重要です。真に人権が尊重される高知県の実現に向けて、ご協力をお願いします。

詳しく知りたい方へ



■「高知県人権施策基本方針－第3次改定版－」の全文を高知県人権・男女共同参画課のホームページに掲載しています。



■概要版(全14頁)をご入用の方は下記までご連絡ください。
高知県人権・男女共同参画課
TEL:088-823-9804

困難を抱える女性に寄り添う

～国の新しい法律と高知県の取組紹介～

令和6年4月、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援新法)が施行されました。これを受け、高知県においても、県と市町村、及び民間の支援組織などが連携して、困難な問題を抱える女性を支援する取組を強化しています。今回は、こころんがその取組について高知県の女性の活躍推進室にお話を聞きました。



◀ お話してくれた人
高知県 人権・男女共同参画課
女性の活躍推進室
田所のあ チーフ



女性が気軽に集まり、つながりをつくれるようにと始まった、新たな取組「ごほうびカフェ」。家庭での役割を背負いがちな女性が、お互いの悩みを話し合えるような場所づくりを目指します。



女性が女性であるがゆえに直面する様々な困難

日々の暮らしの中で、女性は女性であることによって様々な困難に直面することが多々あります。「女性支援新法」は、そうした女性を取り巻く社会的・構造的背景をふまえ、人権尊重や福祉の増進といった視点で一人ひとりに寄り添った支援を行うことを目的に整備されました。

女性を巡る課題には、性暴力・性犯罪による被害、DV、家庭関係の破綻、孤立、不本意な非正規雇用や生活困窮などがあります。これらは年々複雑化・複合化しており、特にコロナ禍では、暴力被害等で家庭に居場所のない若年女性がやむを得ず街に出て性的に搾取されるなどの問題が顕在化し、社会問題となりました。

調査で見えてきた高知県の現状

令和5年度、県では困難な問題を抱える女性への支援に関するニーズ調査を実施しました。高校生女子を対象とした調査では、これまで抱えたことのある悩みとして、「家族や同居人からの心理的暴力」が4.6%、「家族や同居人からの身体的暴力」が2.9%、「デートDV」「他人からの性暴力・性犯罪被害」「ストーカー被害」がそれぞれ1.0%という結果でした。これは、本来ならば1件もあってはならない深刻な被害が、現実には起きていることを示しています。

また、自分や周囲の悩みを誰(どこ)に相談したかについては、高校生の26.6%の人が「どこにも相談したことがない」と回答。このような悩みや問題を相談する相談機関については、67.8%が「どれも知らない」と回答しています。

▶ P5 右上のDATAも参照

県と市町村が連携し、支援を強化

このような現状に危機意識を持ち、高知県では、困難を抱える女性を支える施策と体制をより強化しています。

高知県女性相談支援センターでは、女性相談支援員を増員し、電話・面談で県民の皆様からの相談やSOSに対応しています。例えば身の危険が迫るDVなどのケースでは警察や民間団体と連携して一時保護をし、安全に過ごせる場所を提供したり、経済的困窮では市町村窓口や社会福祉協議会と連携して生活保護や食支援につなぐなど、相談者の心身の状態や背景に寄り添った支援を行っています。

また、各市町村においても今後、女性相談支援員を配置した支援体制を整えられるよう、県が研修の実施などによりバックアップしていく予定です。

一人ひとりが人権意識を大切に

そのほか、ふだんから気軽につながり合える“居場所づくり”にも力を入れています。安心できる関係性の中でSOSをキャッチできる仕組みを作ろうと、今年度から「ごほうびカフェ」と称して、県内各地でセミナーや体験イベントなどを開催する事業も始まりました。

このような様々な取組を通じて、女性を取り巻く問題を社会全体で考えていくこと、また私たち一人ひとりが「暴力は許さない」「人権侵害を見過さない」という姿勢でいることが、問題をなくす一歩になるのではと考えています。



発見こころん

DV被害者は、女性だけじゃない！

こんなこともDV(暴力)です。

「生活費を渡さない」

「デート代をいつも払わせる」

「稼がが少ない・能なしなど悪口を言う」

「携帯の履歴をチェックする」

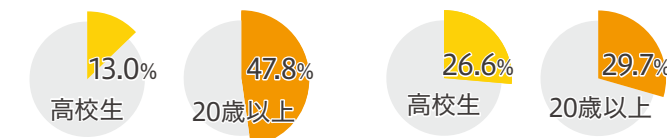
女性相談支援センターは、性別問わずDVの相談が可能です。



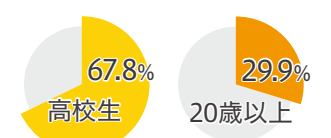
DATA

令和5年度高知県困難な問題を抱える女性の支援に関するニーズ調査(抜粋)

Q. 困難な悩みを抱えたことがあるか →「ある」



Q. 知っている相談機関 →「どれも知らない」



もしもの時の相談先

※匿名でも相談できます



- 高知県女性相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)
☎ 088-833-0783
(平日9時～22時、土日祝日9時～20時/年末年始除く)
- こうち男女共同参画センター「ソーレ」
☎ 088-873-9555
(毎日9時～12時、13時～17時/第2水曜・祝日・年末年始除く)

…など

困難を抱える女性の背景にある社会の課題に目を向け、人権侵害を許さない世の中にしていきたいね！



高知県 人権・男女共同参画課
女性の活躍推進室

TEL:088-823-9651

「部落差別をなくする運動」強調旬間 7月10日(水)～7月20日(土)

第51回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業

参加費無料 手話通訳あり
定員500名(申込不要)

2024年 7月19日(金) 13:15～16:00 ※開場12:45～

会場 高知県立県民文化ホール グリーン
高知市本町4丁目3-30 TEL 088-824-5321明徳義塾中学・高等学校
和太鼓部

和太鼓部は今年で創部19年目を迎えます。国際コースを持つ本校は、現在約300名の生徒が海外からの留学生です。海外の姉妹校も多く、そういった方々に日本の伝統芸能である和太鼓の響きの素晴らしさを伝えるために、和太鼓部は発足されました。普段は地元である須崎市・土佐市を中心としたイベント等での演奏や、インターネットを利用した動画配信、また、海外の姉妹校での演奏や自主公演、和太鼓の体験教室なども行っています。

部落問題を通して考える日常の中の差別
「私は差別なんかしていない」
と思いませんか？講師 かみかわ たみ
上川 多実 さん (BURAKU HERITAGE メンバー)

1980年東京生まれ。関西の被差別部落の両親のもと、東京の部落ではない地域で育つ。
『「わたし」から始まる「部落」の情報発信サイトBURAKU HERITAGE』の運営メンバーのひとりで、現代の気づらい部落問題について、講演や展示などの活動を行っている。
著書に『〈寝た子〉なんているの？ 気づらい部落差別と私の日常』(里山社)、共著に『部落の私たちがリモートで好き勝手しゃべってみた。』(解放出版社)。

■「部落差別をなくする運動」強調旬間とは

高知県では、昭和44年7月10日に「同和対策事業特別措置法」が施行されたことちなんで、7月10日から20日までを「部落差別をなくする運動」強調旬間と定め、部落差別のない社会の実現に向けて、同和問題に関する教育・啓発等の取組を進めています。

■「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月16日から施行されました。
同和問題を正しく理解し、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指しましょう。

8月4日(日) 14:00～16:00 ※受付13:30～

講演会

令和6年度 人権啓発研修 第1回ハートフルセミナー

講演会「みんなで取り組むジェンダーギャップ」

手話通訳あり
参加費無料
定員120名
(予約優先)

講師

おおさき あさこ
大崎 麻子 さん(ジェンダー・スペシャリスト
NPO法人 Gender Action Platform 理事)

会場

高知県立人権啓発センター
6階ホール

上智大学卒。米国コロンビア大学国際公共政策大学院修了。国連開発計画(UNDP)でジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進を担当。東日本大震災の被災地支援を機に、日本国内のジェンダー課題にも取り組み始める。現在は、グローバルとローカルをつなぐ専門家として、国内外で幅広く活動中。

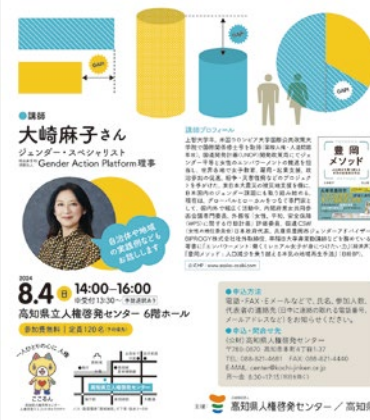
内閣府男女共同参画会議専門委員、国連CSW(女性の地位委員会)
日本政府代表、早稲田大学非常勤講師などを務めている。

〈著書〉

『エンパワーメント:働くミレニアル女子が身につけたい力』(経済界)
『豊岡メソッド:人口減少を乗り越える本気の地域再生手法』(日経BP) ▶
講師がジェンダー平等推進アドバイザーを務めた兵庫県豊岡市の取組・改革の実態を読みやすくまとめた一冊。

みんなで取り組む
ジェンダーギャップ

講演会

自治体や地域の実践例なども
お話しいただきます

【申込方法】電話・FAX・Eメールで、以下の情報をお知らせください。
お名前／参加人数／代表者の連絡先(日中に連絡の取れる電話番号かメールアドレス)

お申込み・お問合せは…

公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15
TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

募集

令和6年度人権ふれあい支援事業について

高知県内のNPO、ボランティア団体及び民間団体の人権意識の向上を目的とした活動を支援します。

区分	支援金額・支援率
① 申請金額が5万円以下の事業	全額(支援対象外経費を除く)
② 申請金額が5万円を超える事業	支援対象経費の80%以内(上限20万円)

実施要領及び応募書類はホームページからダウンロードできます。
詳細をご確認の上、申請書を郵送またはご持参ください。

【対象となる事業】講演会、研修会、映画上映会などの開催／
啓発資料の作成／ふれあい交流活動の開催／人権啓発の
「きっかけ」となる様々な体験活動の開催などの非営利事業。

【募集期間】5月31日(金)～7月1日(月)

【支援決定】審査会の審査を経て、7月中旬に通知します。

みなさまのご応募お待ちしております！

出張
します

人権研修のための出前講座

講師派遣料無料

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や
学習の場に、講師を派遣しています。お気軽にご相談ください。

★令和5年度は164回の集合研修を行い、5,872人が受講しました。



New!

貸出
します避難所運営
ワークショップ用教材

利用無料

災害時の人権に配慮した避難所運営について学べる教材の貸
出しを行っています。地域や学校、様々な団体でご利用ください。
詳細はホームページに掲載しています。



避難所となる学校の平面図ボード

マグネットステッカー(一例)

貸出
します「こころん」の
着ぐるみ・紙芝居

利用無料

人権について楽しく学べる、こころんの着ぐるみやオリジ
ナル紙芝居とパペットのセット貸出しを行っています。



オリジナル紙芝居+パペット



利用者の声

こころんと一緒に学んだよ!

室戸市全保育所で行った人権教育では、市職員が手話で交流も。
こころんは、室戸市のすべての子どもたちが知っている妖精です。
新たな紙芝居の登場を期待しています。(室戸市人権啓発課)



じんけんライブラリー情報

所蔵数(R5年度末現在)
図書 9,611冊
DVD 379本
ビデオ 234本

「じんけんライブラリー検索」はこちら▶

所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。
<http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/>

じんけんライブラリーでは、人権啓発DVD(VHS)やパネル、図書(専門書からコミックまで幅広く所蔵)の貸出しを行っています。

新着図書紹介

★「部落差別をなくする運動」強調旬間 講師著書
〈寝た子〉なんているの？気づらい部落差別と私の日常
上川 多実 著(里山社)

家では「差別に負けるな」と言われ、外では「部落なんて知らない」と言う人に囲まれ、混乱しながら大人になった。子どもやママ友に<部落問題>を伝える方法を模索する、部落ルーツエッセイ。

新着DVD紹介

「部落の歴史を読み解く」シリーズ2
近世の身分制度と被差別民

(28分/大阪人権博物館)
解説:寺木伸明(桃山学院大学名誉教授 全国
部落史研究会顧問)／利用の手引き付き
文献や絵図を使って詳しく、専門的な視点から
わかりやすく解説しています。

★シリーズ1「全国水平社の歴史」も好評貸出中

令和6年度の人権啓発ポスターができました

人権は、一人ひとりが人間らしく生きていくために、生まれながらにして持っている大切な権利です。幼い子どもにもわかりやすく人権を身近に感じてもらえるようなポスターを作成しました。



New! 「人権コラム集～心呼吸～」

令和4年度と令和5年度に高知新聞に掲載した人権啓発コラム14回分と、令和5年度発行の「こころんだより」の特集記事を掲載しています。ぜひご活用ください。



〈掲載内容〉

- ・差別の現実 どこにある? (奥田 均)
- ・無意識に潜む思い込み (バイオレット・パチレオ)
- ・やさしい日本語で包括的な社会を (尾崎 裕子)
- ・言葉は正しさより優しさ (スマイリーキクチ)
- ・共に暮らし育む共感の日々 (星野 ルネ)
- ・子どもの表現受け止めて (土居 寿美子)
- ・「分からない」を受け入れる (村山 綾)
- … など

☆ ポスターの掲示や研修等で配布するなど、ご希望の方にはお送りいたします。

ご利用案内

6F

ホール (収容人員 270名 机併用の場合は180名)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00～21:00 (年末年始を除く)

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝日
午前	午後	全日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

- 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円
- 利用する時間には、準備・片付けに要する時間を含みます。
- Wi-Fiも利用できます。



6F ホール

5F

じんけんライブラリー (利用無料)

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。

ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

- 利用方法
- 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
 - 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者負担)

ビデオ・DVDの
貸出本数が
増えました!

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	3本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



団体図書貸出(こころんブック便)について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。



5F じんけんライブラリー



1F 入口看板

4F

視聴覚室 (利用無料/収容人員 48名)

人権に関する研修等のにのみ使用できます。

「こころん」は高知県人権啓発センターの
マスコットキャラクターです
★ 着ぐるみの貸出もしています



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ <https://www.kochi-jinken.or.jp>

Webで情報発信中!



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3～5分

〔事務局〕〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL : 088-821-4681 / FAX : 088-821-4440 / E-Mail : center@kochi-jinken.or.jp
〔開所時間〕月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)